

中国の文化IX 第11回

五代十国時代(上)

印刷術の発明と書籍出版のはじまり

菩薩世尊善男子善女人發阿耨多羅三藐三菩
白佛言希有世尊如來善護念諸菩薩善付囑諸
衆中即從坐起偏袒右肩右膝著地合掌恭敬而
鉢食訖收衣鉢洗足已敷座而坐時長老須菩提在大
比丘衆千二百五十人俱尔時世尊食時著衣持
鉢入舍衛大城乞食於其城中次第乞已還至本處
如是是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園與大

金剛般若波羅蜜經
奉請紫賢金剛
奉請白淨水金剛
奉請除灾
循唎

奉請摩訶金剛
奉請寶金剛
奉請寶金剛

奉請定除厄金剛
奉請黃隨求金剛
奉請摩訶金剛
娑婆訶

凡欲讀經先念淨口業真言
摩訶

娑婆訶

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

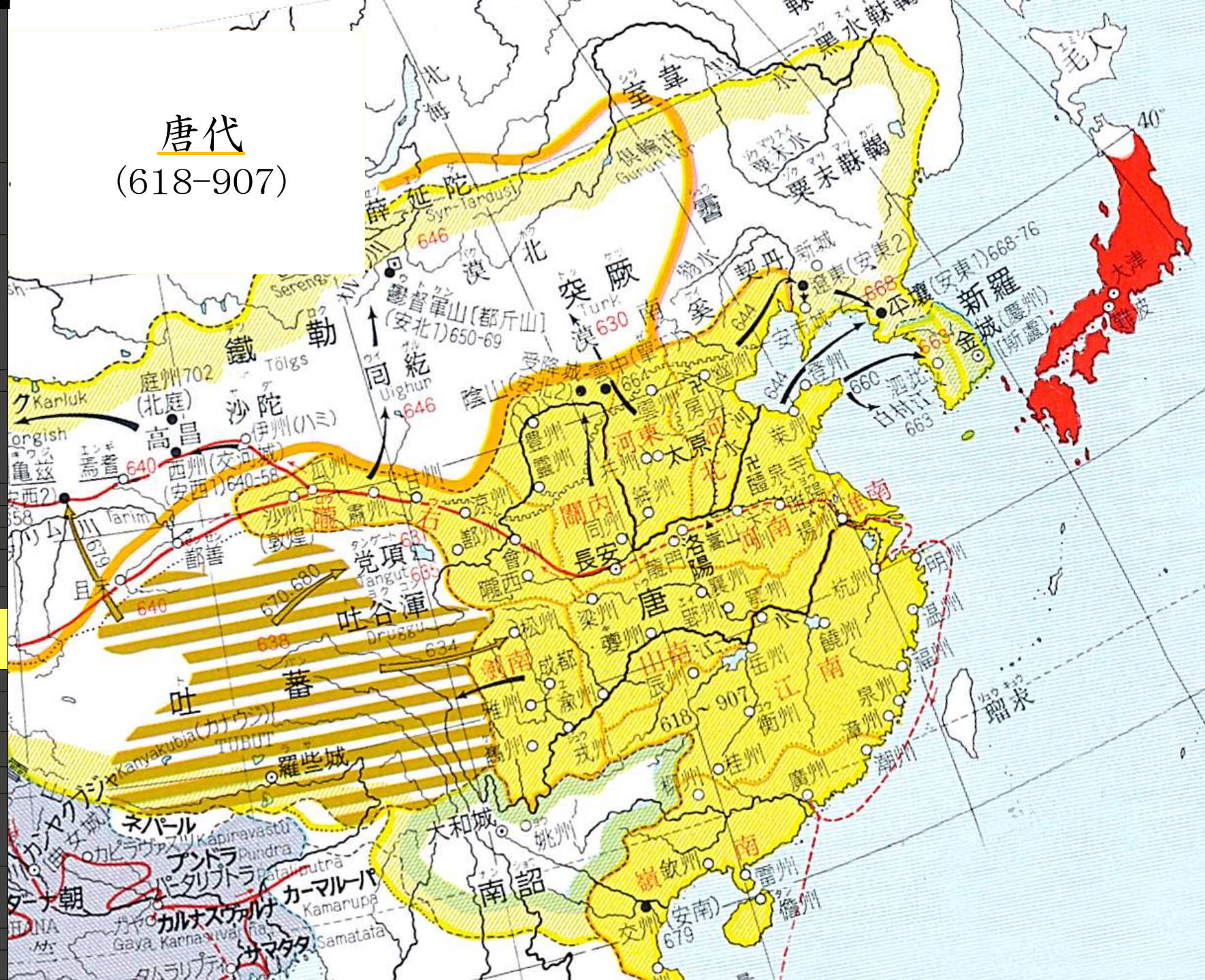
明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

唐代 (618-907)

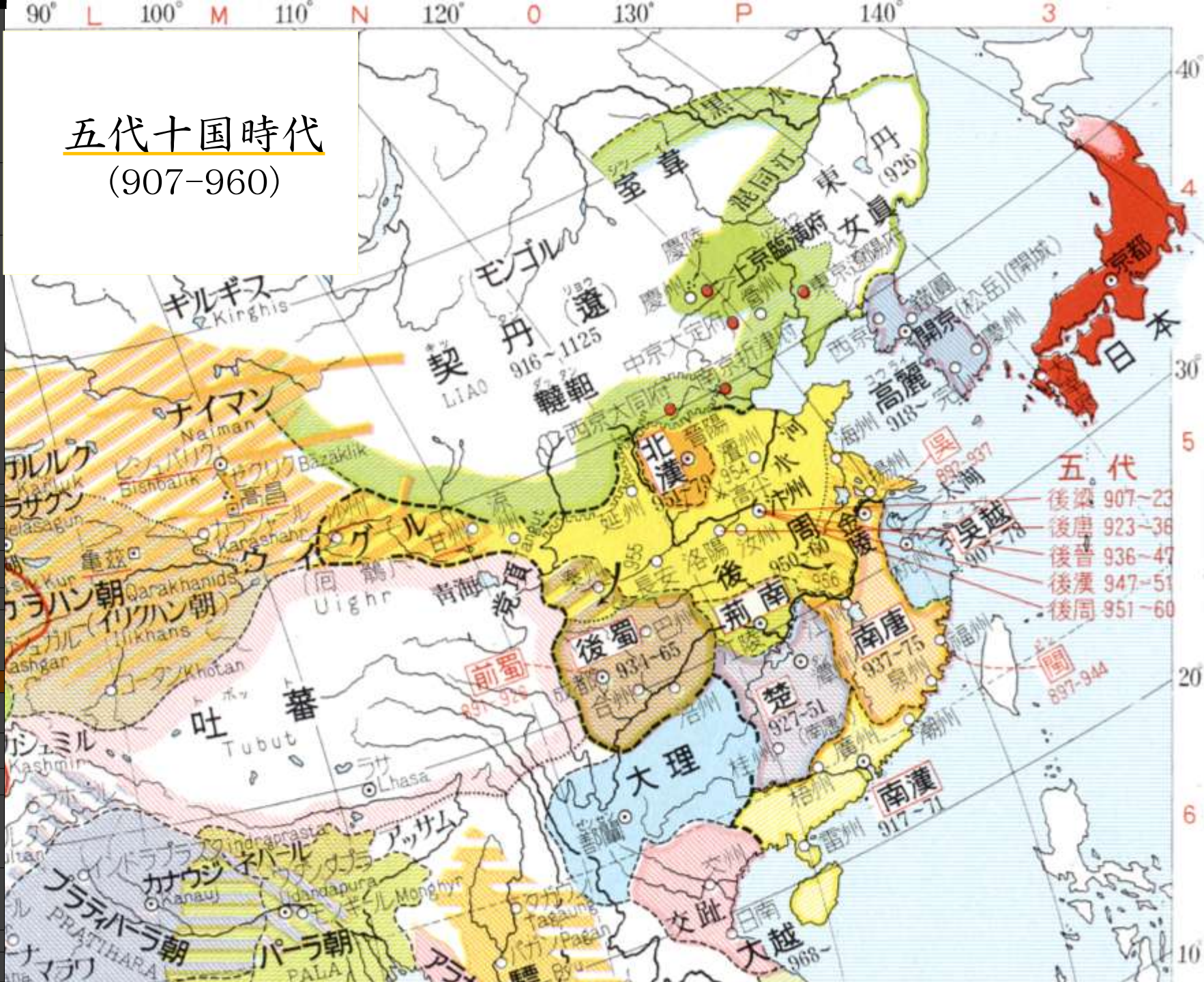


五代十国時代

八九四年、唐の衰退を見た日本は、
菅原道真の建議により遣唐使の廃止
を決定した。

それから十三年後、唐は滅亡し、
中国は再び五十年に及ぶ分裂の時代
を迎えた。五代十国時代である。

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200			
300			
400			
500	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
600	晋 265-316		
700	五胡十六国時代		東晋 317-420
800	北朝 439-589		南朝 420-589
900	隋 581-619		
1000	唐 618-907		
1100			
1200			
1300			
1400			
1500	五代十国 907-960		
1600	遼	北宋 960-1127	
1700	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
1800	元 1271-1368		
1900	明 1368-1644		
2000			
	清 1616-1912		
	中華民國 1912-1949		
	中華人民共和国 1949-		



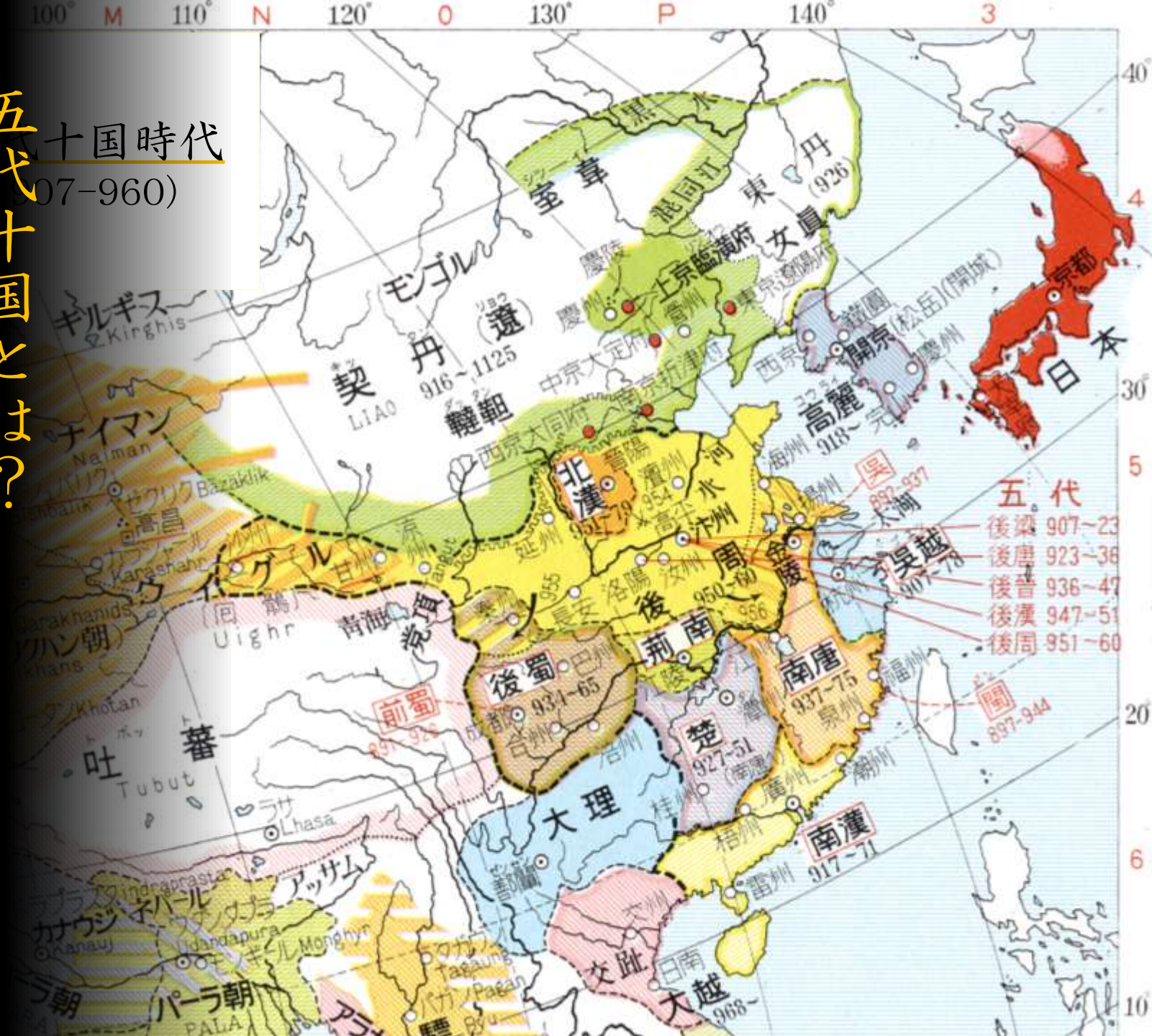
五代十国時代 (907-960)

五代十国とは？

〔解説〕

「五代」とは、唐末に頭角を現した沙陀族を中心として、中原に興亡を繰り返した五つの王朝を指す。

これらの王朝はいずれも短命で、地方には支配が及ばなかったため、前後して十の地方政権が誕生した。これらを「十国」と呼ぶ(図中の□)。





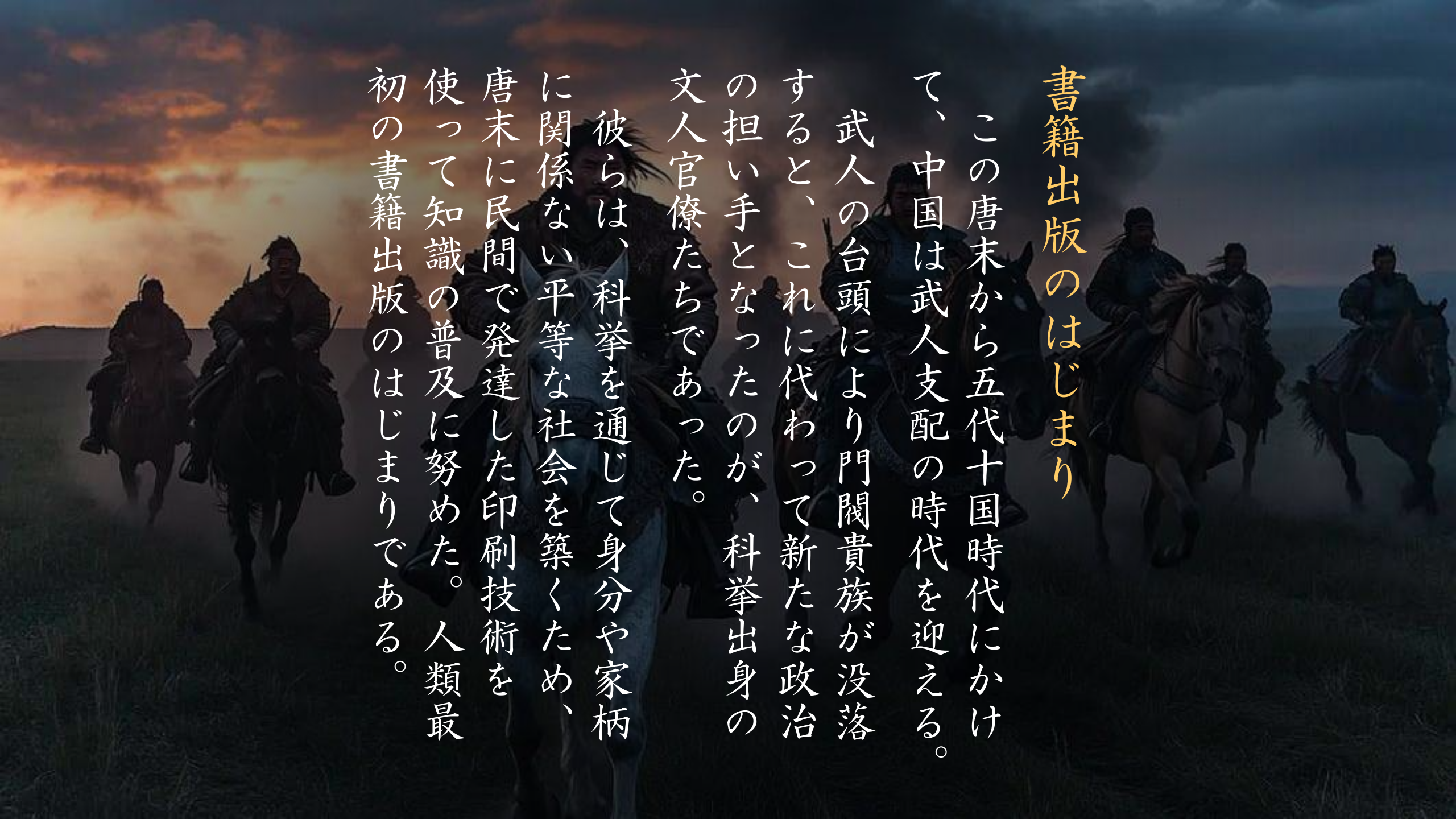
五代の後唐・後晋・後漢を築いたテュルク系沙陀族（想像図 汗血馬作）

書籍出版のはじまり

この唐末から五代十国時代にかけて、中国は武人支配の時代を迎える。

武人の台頭により門閥貴族が没落すると、これに代わって新たな政治の担い手となったのが、科挙出身の文人官僚たちであった。

彼らは、科挙を通じて身分や家柄に関係ない平等な社会を築くため、唐末に民間で発達した印刷技術を使って知識の普及に努めた。人類最初の書籍出版のはじまりである。



講義内容

- 第一節 五代十国時代
～武人支配の時代
- 第二節 印刷術の誕生
～仏教が生んだ印刷術
- 第三節 出版のはじまり
～写本の時代から刊本の時代へ

A dramatic scene of samurai warriors on horseback at sunset. The sky is a mix of dark, heavy clouds and a bright orange glow from the setting sun. In the foreground, a warrior with a long, dark beard and hair, wearing a dark, textured robe, rides a light-colored horse towards the viewer. To his right, another warrior in a blue and black robe rides a dark horse. In the background, several other warriors on horseback are visible, some in silhouette against the bright sky. The overall mood is somber and epic.

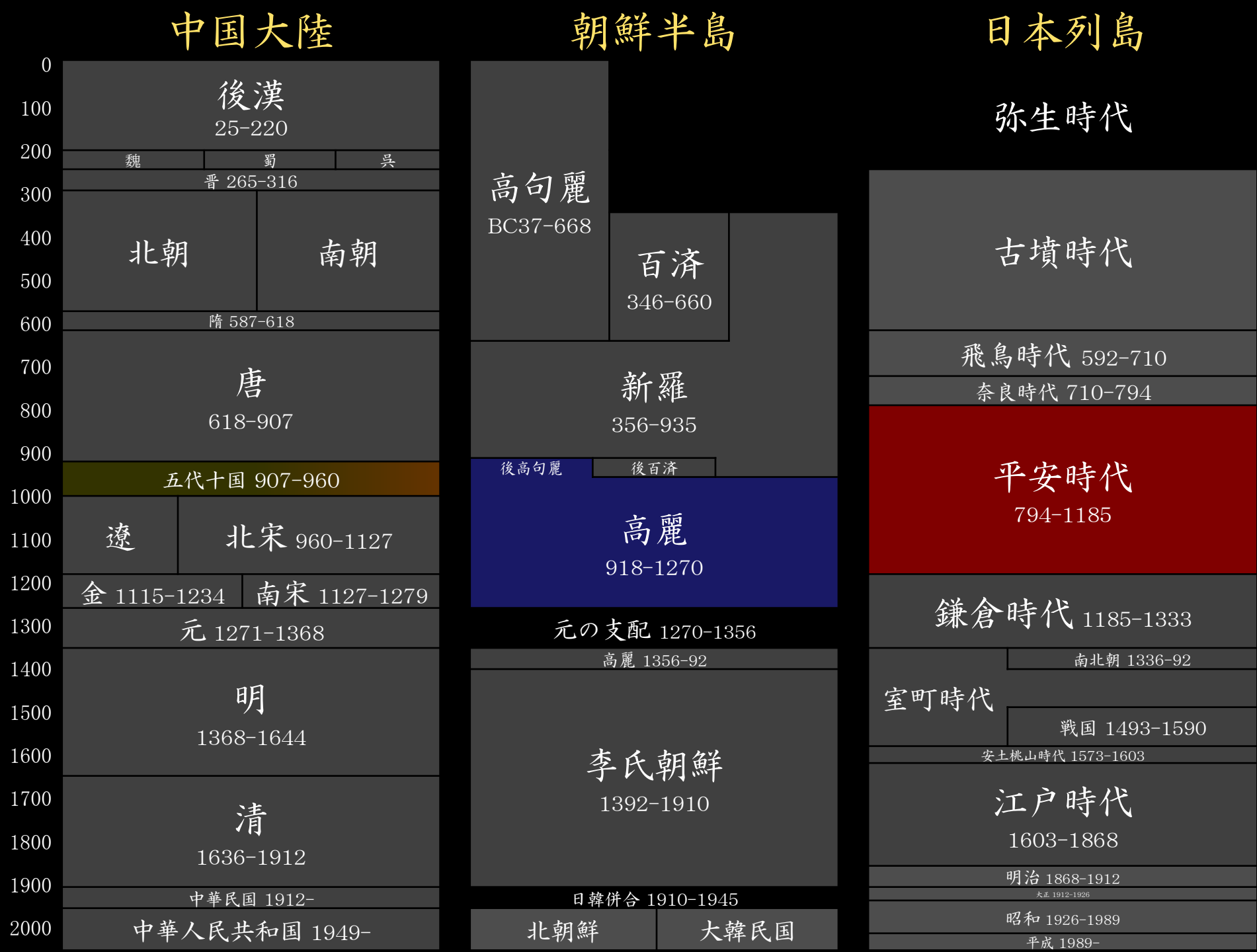
第一節

五代十国時代

武人支配の時代

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200			
300	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
400	晋 265-316		
500	五胡十六国時代		東晋 317-420
600	北朝 439-589		南朝 420-589
700	隋 581-619		
800	唐 618-907		
900			
1000	五代十国 907-960		
1100	遼	北宋 960-1127	
1200	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900			
2000	中華民国 1912-1949		
	中華人民共和国 1949-		





1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
300	晋 265-316		
400	五胡十六国時代		東晋 317-420
500	北朝 439-589		南朝 420-589
600	隋 581-619		
700	唐 618-907		
800			
900	五代十国 907-960		
1000	遼	北宋 960-1127	
1100			
1200	金 1115-1234		南宋 1127-1279
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900	中華民国 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		



五代十国時代
(907-960)

「唐宋変革期」

唐代以前—門閥貴族が政治の実権を握る

五代十国時代—武人の台頭により門閥貴族が没落

宋代以降—文人官僚に支えられた皇帝の
独裁体制が確立

中国大陸

朝鮮半島

日本列島

東アジアの武人支配



およそ七百年に及ぶ
武家政権による支配

武家政治と近代日本の国家主義

（戦前の）日本において、国家主義的かつ権威主義的な反動が起こったことの裏には、当然ながら数世紀にわたって形成された日本人のある特質があった：：幾百年もの武家政治の下にあった日本人は、軍国主義者の主導権主張を唯々としてうけいれ：：むしろもう一度天下り権威のもとで感情的な安住を得たい、とさえ考えていた。

ライシャワー『日本——過去、現在』

（時事通信社、一九六七）



ハーバード大学の日本研究者で
駐日大使も務めたライシャワー
(Edwin Reischauer, 1910～90)

第二節

印刷術の誕生

仏教が生んだ印刷術

凡欲讀經先念淨口業
循唎 循唎 摩 循唎 娑婆訶
奉請除災金剛 奉請白淨金剛 奉請紫賢金剛 奉請大神金剛
金剛般若波羅蜜經

如是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園與大
比丘衆千二百五十人俱尔時世尊食時著衣持
鉢入舍衛大城乞食於其城中次第乞已還至本處
飯食訖收衣鉢洗足已敷座而坐時長老須菩提在大
衆中即從坐起偏袒右肩右膝著地合掌恭敬而
白佛言希有世尊如來善護念諸菩薩善付囑諸

印刷術の誕生と書籍出版の開始

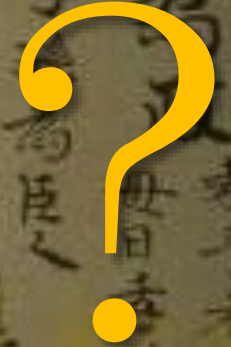
武人の台頭によって門閥貴族が没落した後、政治の実務を担ったのは、科挙出身の文人官僚たちであった。

彼らは家柄や身分に関係のない実力本位の社会を築くため、科挙の受験に必要な書籍の普及に努めた。そこで利用されたのが、中国の四大発明の一つ印刷術である。

印刷術の誕生時期については諸説があるが、遅くとも九世紀には高度な印刷技術が存在したことが、敦煌石窟から発見された唐代の印刷物（「金剛般若波羅蜜經」八六八年刊）から明らかになっている。

如是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園與大比丘衆千二百五十人俱尔時世尊食時著衣持鉢入舍衛大城乞食將至城東次第乞已還至本處飯食訖收衣鉢洗足已敷座而坐時長老須菩提在大衆中即從坐起偏袒右肩右膝著地合掌恭敬而白佛言希有世尊如來善護念諸菩薩善付囑咐

君之諡 孔子對曰舉直措諸枉
枉者諸宜則人不暇
諸之言於謂教之
於措者之上位
季康子敏使人敬中以勸
肥之
子曰臨之以莊則敬孝慈則中舉
勸
印刷術は、唐代、中国で発明
されたが、なぜ唐代にそれが必
要となつたのか？
子曰書云孝乎惟孝
謂其無政故也
孝乎者未詳仁既有孝行則



信不知其可 大車無輶小車
行之我 大車無輶小車無輶
十世可知 其制度變也
子曰殺回於夏
回於殺礼所損益可知
雖百大可知 自用之後雖百世制度由可知
而祭之者是訥 天日神地日祇仁曰思非其祖考而祭之
謂求淫祀之福鄭易訪フ 礼州

1969年に新疆のアスターナ古墳で発見された唐代の論語の写本

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	吳 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民國 1912-1949		
中華人民共和國 1949-		

仏教と印刷術

最初に印刷技術を必要としたのは仏教であった

印刷術の誕生

三蔵法師が百万枚の普賢菩薩像を印刷

大慈恩寺三藏法師傳卷第三

沙門惠立本

釋彦棕箋

起阿踰陀國終伴爛犂國

自此東南行六百餘里渡疏伽河南至阿踰陀

國度寺百餘所僧徒數千人大小衆衆大

城中有故伽藍是伐獼股度菩薩唐言也親舊曰婆薮股三摩口

天親記也於此制大小衆論及爲衆誦聚城西北四

五里臨疏伽河岸大伽藍中有窣堵波高二百

餘尺元慶王所造伽藍中說法處其旁又有

爲云四菩薩行處(唐)沙門惠立本・釈彦棕箋

〔解説〕

『西遊記』で知られる唐代の僧・

玄奘(六〇二〜六六四)の事跡を記した記録に『大慈恩寺三藏法師伝』がある。弟子の慧立(えりゆう)と孫弟子の彦棕が著したもの。全十巻。

前半五巻は、玄奘の十数年におよぶ天竺(インド)への求法巡礼行記で、後半五巻は帰国後、請来した經典の漢訳に半生をかけた行状記。

日本の興福寺に一〇七一年の写本が伝わっている。



玄奘三蔵像(鎌倉時代 東京国立博物館蔵)

仏教の普及と印刷術の発展

大帝①は(玄奘)法師が先朝に重んじられていたため、即位後、ますます敬った。……(玄奘法師は)十俱胝②すなわち百萬の像を造ることを発願し、それを成し遂げた。

(唐)沙門惠立本釈彦悰箋

『大慈恩寺三蔵法師伝』巻十

【注釈】

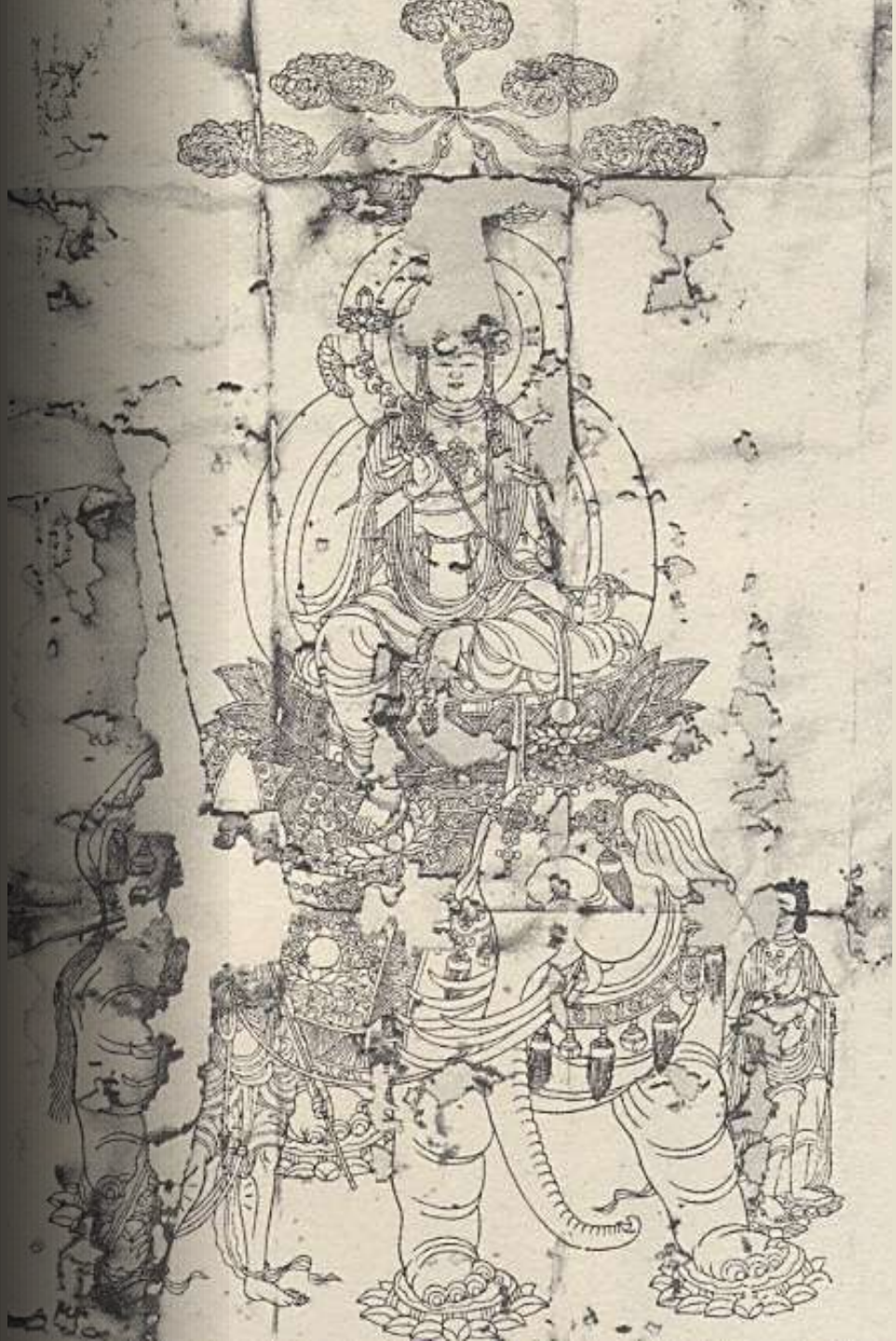
- ①唐の第三代皇帝・高宗。
- ②俱胝、梵語 क्लृप्ति の音訳。諸説があるが、ここでは十万の意。

玄奘法師は、何を百万作ったのか？



玄奘三蔵像(鎌倉時代 東京国立博物館蔵)

(北宋)紙本版画普賢菩薩騎象像(清涼寺藏・国宝)

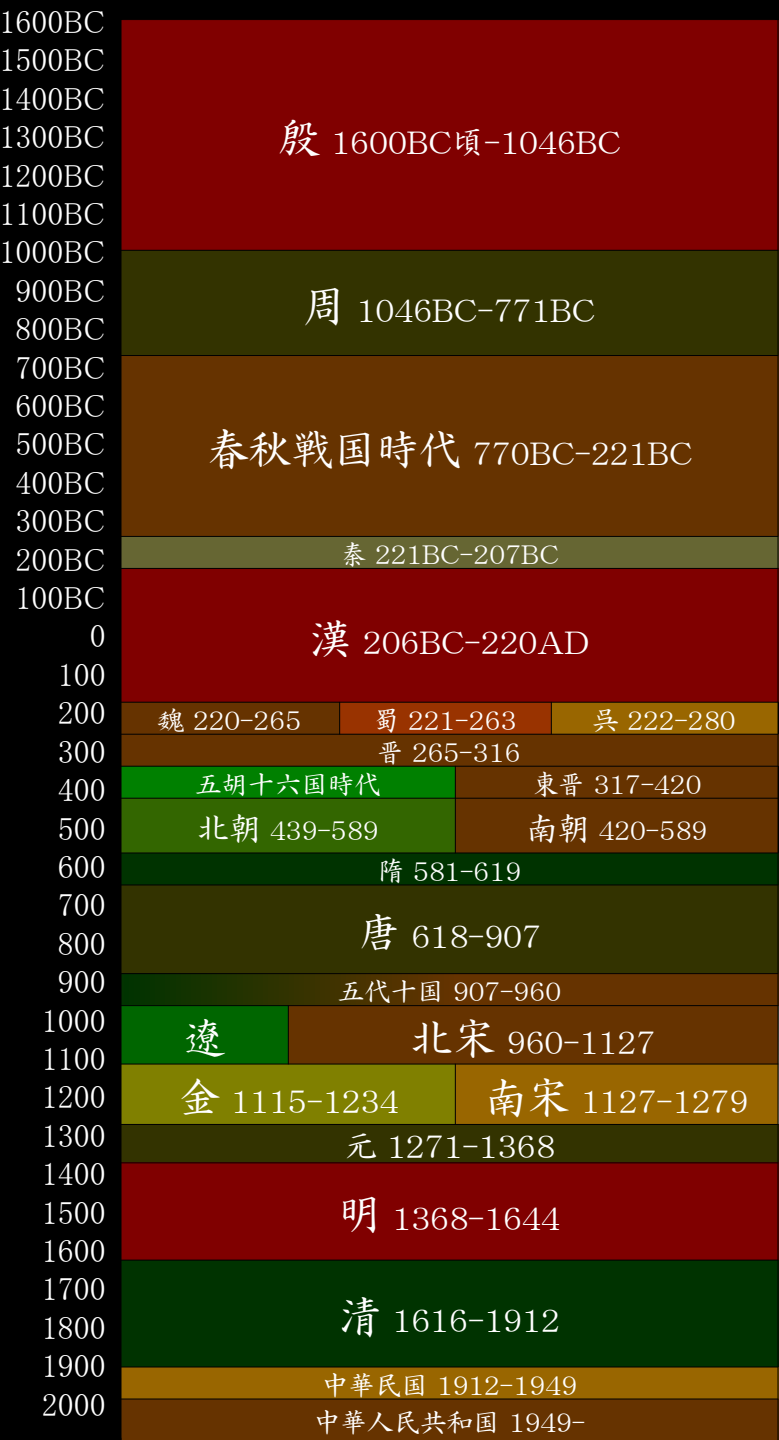


玄奘が印刷した普賢菩薩像

玄奘は回鋒紙に普賢象を印刷し、各地の衆生に施した。毎年、五駄も用意したが余ることはなかった。


(五代)馮贇『雲仙雜記』卷五所引『僧円逸録』

＊右図は、国宝「紙本版画普賢菩薩騎象像」。平安時代の僧・奝然(ちようねん、九三八〜一〇一六)が、北宋から請来した釈迦如来立像(京都・清涼寺蔵)の中から、一九五四年に発見された。



玄奘が印刷したという普賢菩薩像
はいまは伝わっていないが、唐代に
印刷された仏教関連の印刷物はいま
も東アジア各地に現存している。
では、現存する印刷物で最古のも
のは、どこにあるのか？

①中国が主張する世界最古の印刷物



1974年、西安市西郊の唐代の墳墓で
梵文陀羅尼咒の印刷物が発見される

梵文陀羅尼咒(ボンブンドラニジュ)

〔解説〕

一九七四年、西安市西郊の唐代の墳墓からサンスクリット語で書かれた陀羅尼(呪文)の印刷物が発見された。「呉徳(冥)福」の四字が墨書されているところから、被葬者は呉徳という人物であることがわかる。

同時に出土した腕輪や銅鏡、印刷に使われた紙の特徴から、中国の考古学会はこれを唐代初期のものとして推定し、現存する世界最古の印刷物としている。



②韓国が主張する世界最古の印刷物

1966年、韓国慶州にある仏国寺釈迦塔から
無垢浄光大陀羅尼經の印刷物が発見された



慶州仏国寺の無垢浄光大陀羅尼經

〔解説〕

一九六六
迦塔から木
発見された
唐でこの
のが七〇一
が建立され
(七五一年)で
究者はこれ
物と主張し

延摩醯首羅及天
龍八部等咸礼佛足
同聲白言我等已
蒙世尊加護福此
呪法及造塔法咸皆
守衛住持讀誦書寫
供養為護一切諸衆生
故於後時令彼衆
生悉得聞知不墮地
獄及諸惡趣我等為
報如來大恩咸共守護
令廣流通尊重恭敬
如佛无異不令此法而
有壞滅佛言善哉
善哉汝等乃能堅
固守護住持如是陀
羅尼法時諸大衆聞
佛說已歡喜奉行
無垢浄光大陀羅尼經

仏国寺の釈
陀羅尼經が
翻訳された
この釈迦塔
徳王一〇年
韓国の研
最古の印刷

トハラ
(Tukhara)

無垢浄光大陀羅尼經の東伝

慶州仏国寺で釈迦塔が
建立される(751年)

唐

則天武后が法蔵とトハラからの渡来僧・弥陀山
に無垢浄光大陀羅尼經を重訳させる(701年)



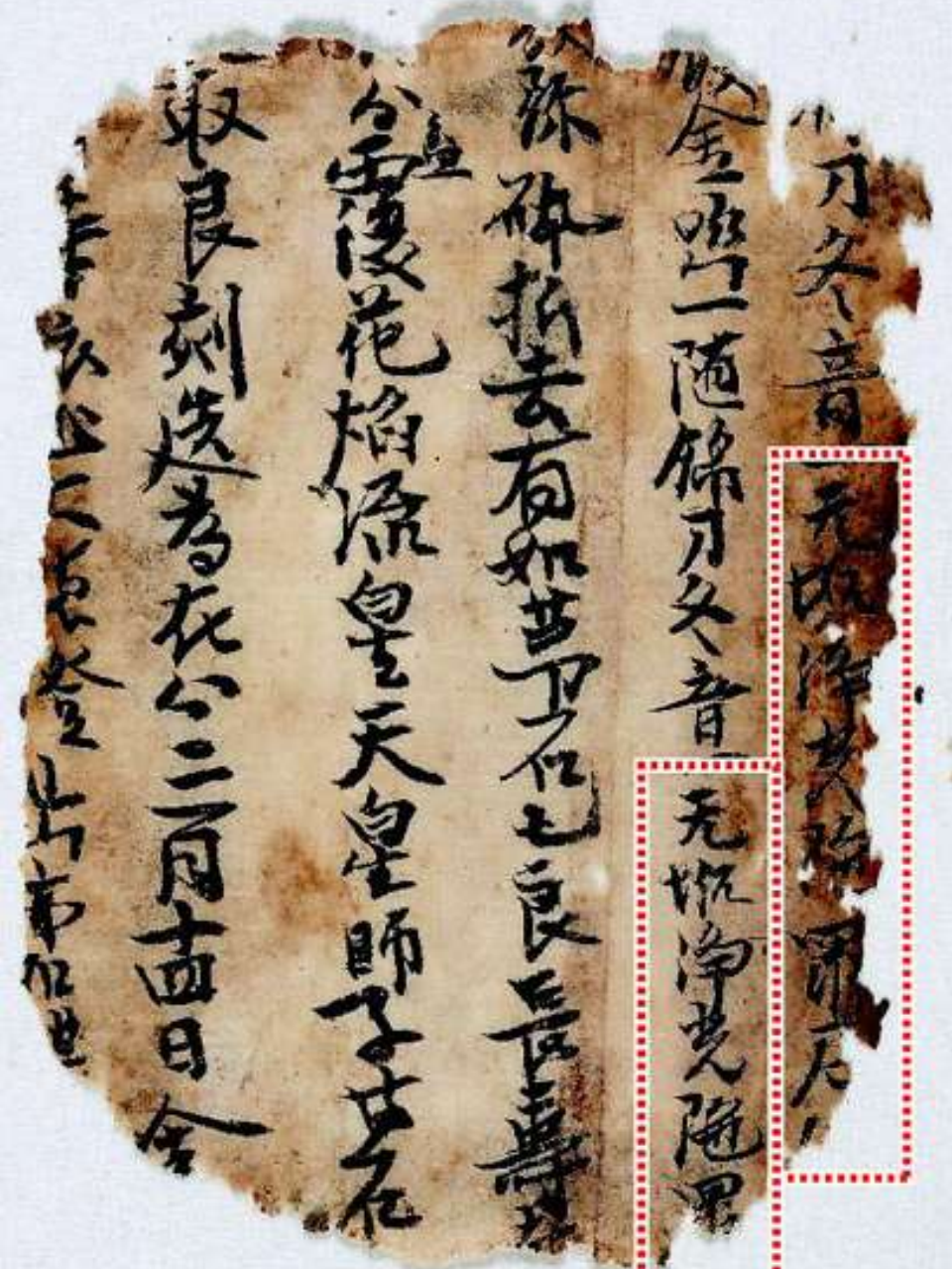
資料映像：韓国観光公社「仏国寺と石窟庵」より

墨書紙片が投げかけた疑惑

〔解説〕

ところがこの塔からは、無垢浄光大陀羅尼經のほかにも、一つの紙塊が発見されていた。墨書紙片と呼ばれるこの紙塊を解読した結果、釈迦塔は新羅の景德王十年（七五一）に建立された後、高麗の太平四年（一〇二四）に一度改修され、その際にも無垢浄光大陀羅尼經二種を納めたことが明らかになった。世界最古の印刷物という国宝に疑惑が生じたのである。

これをスクープした新聞記者は、当時の心情を次のように語っている。



墨書紙片から発見された釈迦塔重修記

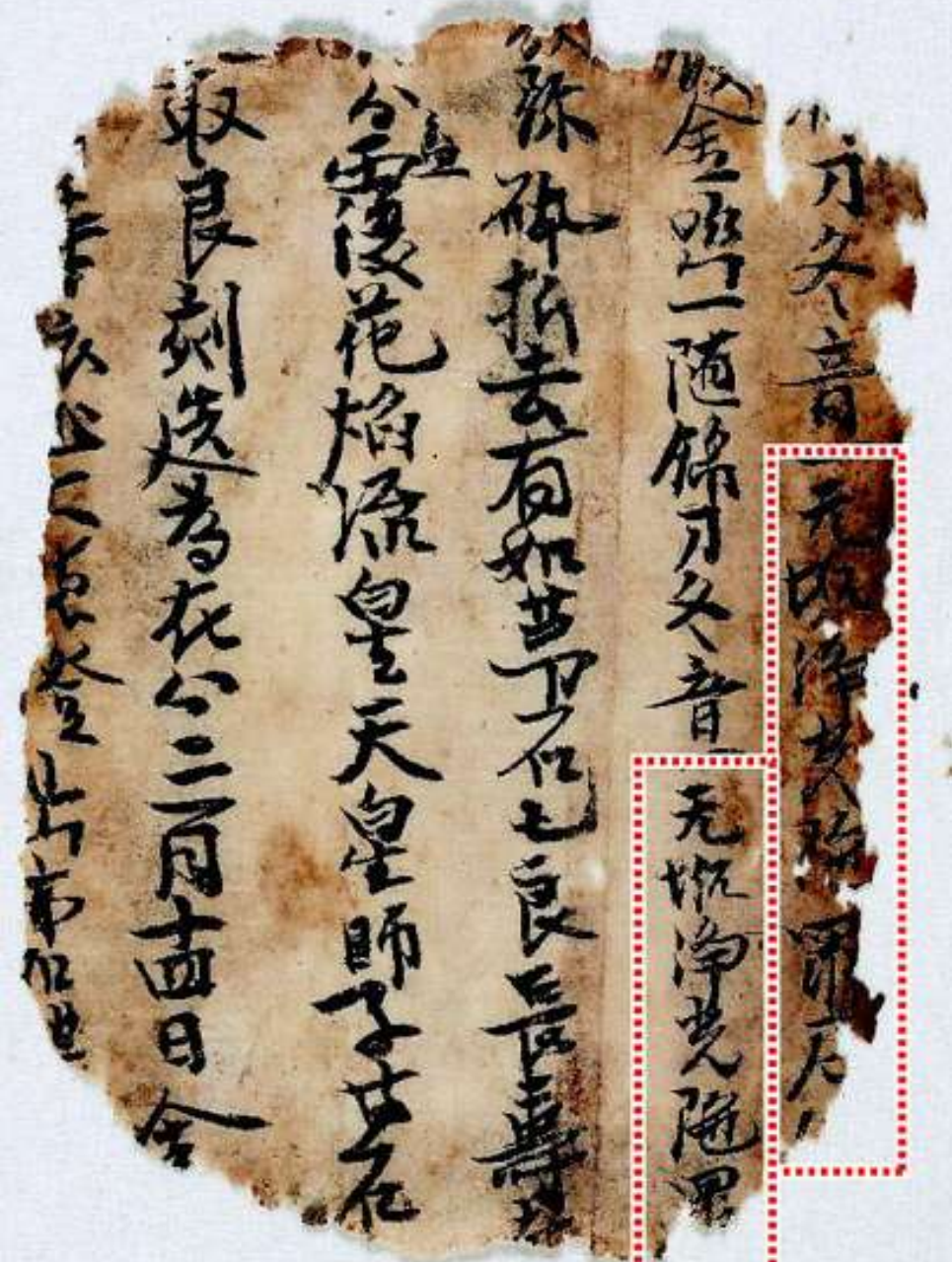
墨書紙片が投げかけた疑惑

（墨書紙片から見つかった）一〇二四年に記録された「釈迦塔重修記（修復記録）」に「無垢浄光大陀羅尼經を収めた」との記述があることを知ったのは、半月ほど前のことだ。その話はある文化財に関する専門家から知らされた。その専門家は「残念なことだが、事実とは事実として明らかにするしかないだろう」と語った。

慎亨浚「世界最古とされてきた

無垢陀羅尼經の真実」

（朝鮮日報二〇〇七年三月一二日）



墨書紙片から発見された釈迦塔重修記

墨書紙片が投げかけた疑惑

何日か悩んだ揚げ句、小学校の教科書で習った「ペンの力」という話を思い返しながら、取材を開始した。

その話とは、第一次世界大戦下の英国で、新聞社の中で唯一「デーリーメール」紙だけが、「戦況は英国に不利だ」という事実を何度も報道したという逸話だ。これには「敵を利するもの」という非難が殺到した。だが前線から帰還した負傷兵を通じて「実際の戦況」が明らかになり、英国政府は兵器改善などを急ぎ、その結果連合軍は勝利した。

戦争が終わった後、ドイツ皇帝のヴィルヘルム二世は「わたしはデーリー・メールという新聞のせいで負けた」と語った。

慎亨浚「世界最古とされてきた

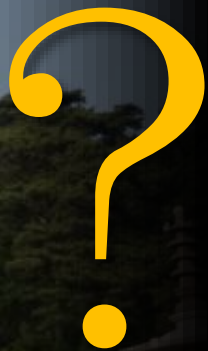
無垢陀羅尼経の真実」

(朝鮮日報二〇〇七年三月一二日)



記者 慎亨浚

あなたがもし記者だったら、世界最
古と誇る国宝に、疑惑をはさむような
報道をするか。



③日本が主張する世界最古の印刷物

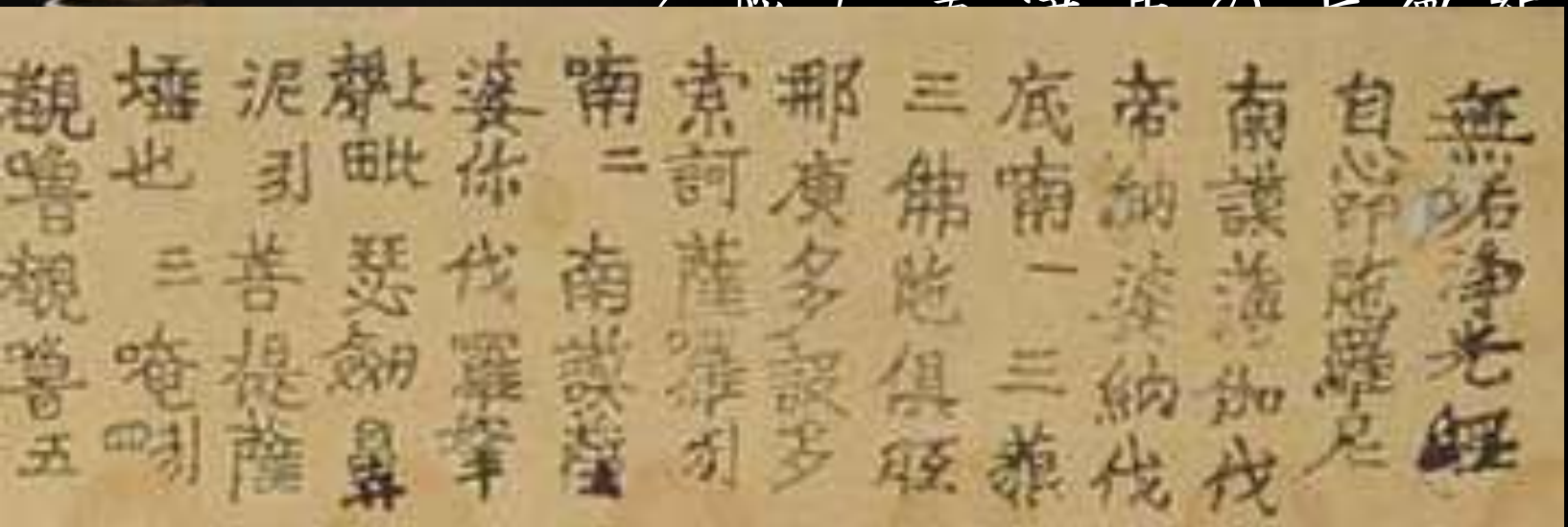
唐

法隆寺に現存する
百万塔陀羅尼
(764-770年)

法隆寺に伝わる百万塔陀羅尼

〔解説〕

『続日本紀』
女帝・称徳
平定後、上
六年近くの
塔・百万基
した無垢淨
大寺に分置
法隆寺に
垢淨光大院
されている



良時代の
勝の乱の
○年まで
三重小
中に印刷
納めて十
小塔と無
千基保存

制作年が明らかな最古の印刷物

戊午^①、初め(称徳)天皇、八年の乱
②平ぎて乃ち弘願(ぐがん)を発して三
重小塔一百万基を造らしむ。高さ各
四寸五分。その径三寸五分。露盤の
下に各根本・慈心・相輪・六度等の
陀羅尼を置く。ここに至りて功畢り
て諸寺に分置す。

【注釈】

続日本紀卷三十

①神護景雲四年、宝亀元年(七七〇年)四月二十六日

②天平宝字八年(七六四年)に惠美押勝(藤原仲麻呂)が
起こした反乱

姓○巳酉授無位紀朝臣豐賣從五位下○壬
子授正八位上道公張弓從五位下以貢獻也
○戊午初 天皇八年乱平乃發弘願入造三
重小塔一百万基高各四寸五分基三寸五
分露盤之下各置根本慈心相輪六度等陀羅
尼至是功畢分置諸寺賜供事官人巳下仕下
巳上一百五十七人爵各有差○五月乙丑始
聽諸國國師乘驛朝集○庚午以從五位下田
上王爲縫殿頭從五位下真立王爲造酒正從
五位下笠朝臣乙麻呂爲伊豆守從五位上大
伴宿祢駿河麻呂爲出雲守正五位上大伴宿





library 001

百万塔/無垢浄光経自心印陀羅尼

資料映像：岩瀬文庫「百万塔陀羅尼」より

トハラ
(Tukhara)

無垢浄光大陀羅尼經の東伝

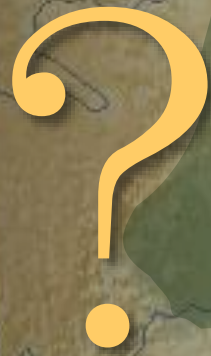
慶州仏国寺で発見の
無垢浄光大陀羅尼經
(751年?)

唐

則天武后が法蔵とトハラからの渡来僧・弥陀山
に無垢浄光大陀羅尼經を重訳させる(701年)

称徳天皇が恵美押勝の乱の鎮定後、
無垢浄光大陀羅尼經を百万部を印刷(764-770年)

印刷された年が印字された最
古の印刷物は？



唐

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民国 1912-1949		
中華人民共和国 1949-		

印刷年が印字された世界最古の印刷物

印刷術の誕生

金剛般若波羅蜜經(868年、刊行年を明記)

1900年、敦煌石窟(莫高窟)から木版の
金剛般若波羅蜜経が発見される



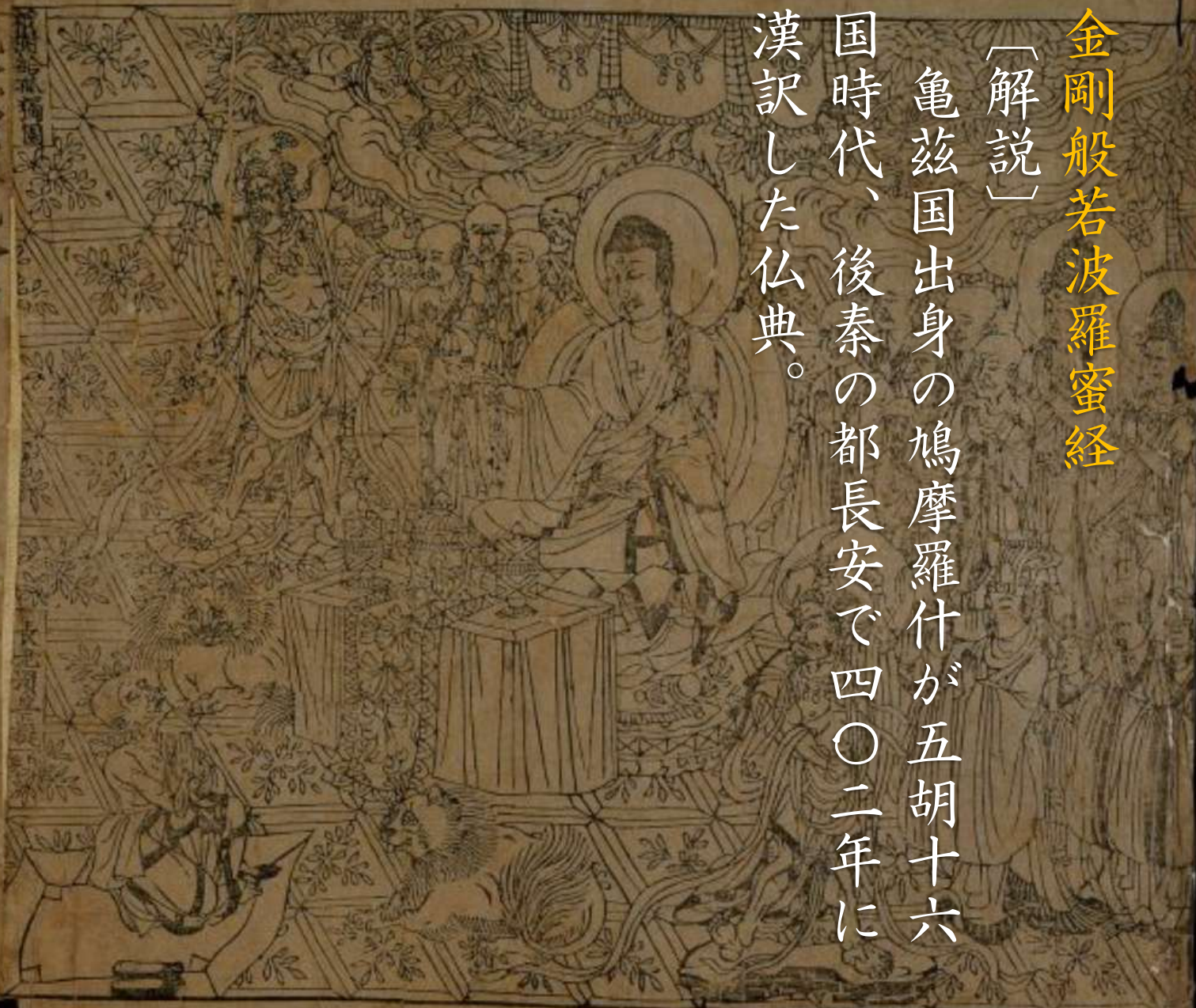


敦煌莫高窟第17窟(藏經洞)前に置かれた敦煌文書

金剛般若波羅蜜經

〔解説〕

龜茲国出身の鳩摩羅什が五胡十六
国時代、後秦の都長安で四〇二年に
漢訳した仏典。



凡欲讀經先念淨口業真言遍

循唎

循唎

摩訶循唎

循唎

娑婆訶

奉請除災金剛

奉請辟毒金剛

奉請黃隨求金剛

奉請白淨水金剛

奉請赤聲金剛

奉請定除厄金剛

奉請紫賢金剛

奉請大神金剛

金剛般若波羅蜜經

如是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園與大
比丘衆千二百五十人俱尔時世尊食時著衣持
鉢入舍衛大城乞食於其城中次第乞已還至本處
飯食訖收鉢洗足已敷座而坐時長老須菩提在大
衆中即從坐起偏袒右肩右膝著地合掌恭敬而
白佛言希有世尊如來善護念諸菩薩善付囑諸
菩薩世尊善男子善女人發阿耨多羅三藐三菩

金剛般若波羅蜜經

釈迦（ブツダ）と十大弟子の一人・須菩提（スブーテイ）の問答のようすが克明に描かれている。



長老須菩提

飯食訖收衣鉢洗足已敷座而坐時長老須菩提在大
衆中即從坐起偏袒右肩右膝著地合掌恭敬而
白佛言希有世尊如來善護念諸菩薩善付囑諸
菩薩世尊善男子善女人發阿耨多羅三藐三菩

金剛般若波羅蜜經の刊行年代

〔解説〕有人以満無量阿僧祇世界七寶持
用者如來說即非法相是名法相
敦煌本『金剛般若波羅蜜經』の卷
末には「咸通九年四月十五日、王玠
が両親のために謹んで造り寄進し
た」という刊記があり、咸通九年（八
六八）に刊行されたことがわかる。年
月日が明記された印刷物としては世
界最古のもの。

敦煌石窟から発見された後、スタ
インによつて英国に持ち出され、現
在は大英図書館に所蔵されている。
娑婆訶

咸通九年四月十五日王玠為

二親敬造普施

齋啓不審近日

尊體何似伏惟倍加

重下情禱望謹狀

第三節

出版のはじまり

写本の時代から刊本の時代へ

凡欲讀經先念淨口業真經
循唎 循唎 摩
奉請除災金剛
奉請白淨金剛
奉請紫賢金剛
金剛般若波羅密經
如是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園與大
比丘衆千二百五十人俱尔時世尊食時著衣持
鉢入舍衛大城乞食於其城中次第乞已還至本處
飯食訖收衣鉢洗足已敷座而坐時長老須菩提在大
衆中即從坐起偏袒右肩右膝著地合掌恭敬而
白佛言希有世尊如來善護念諸菩薩善付囑咐

君之諡 孔子對曰舉直措諸枉

枉矯諸直則人不暇 措猶拔也

諸之言於謂教之 於措者之上位 季康子敏使人敬中以勸

服之 子曰臨之以庄則敬孝慈則中舉

勸 印刷術が誕生する前、人々は

どのようなにして書籍を手に入れ

ていたのか？ 子曰書云孝乎惟孝

為政是亦為 孝乎者未詳仁既有孝行

信不知其可 大車無輶小車 輶其為政

行之哉 大車石車小車羊車 輶而行之

十世可知 子曰殺國於夏 輶而行之

回於殺礼所損益可知 目皆在可殺

雖百大可知 自用之後雖百世制度由可知以為意

而祭之者是訥 天日神地日祇仁曰思非其祖考而祭之

1969年に新疆のアスターナ古墳で発見された唐代の論語の写本

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
300	晋 265-316		
400	五胡十六国時代		東晋 317-420
500	北朝 439-589		南朝 420-589 ●
600	隋 581-619		
700	唐 618-907		
800			
900	五代十国 907-960		
1000	遼	北宋 960-1127	
1100			
1200	金 1115-1234	南宋 1127-1279	
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900	中華民国 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		

写本の時代

印刷技術の誕生以前、本はすべて書き写されていた

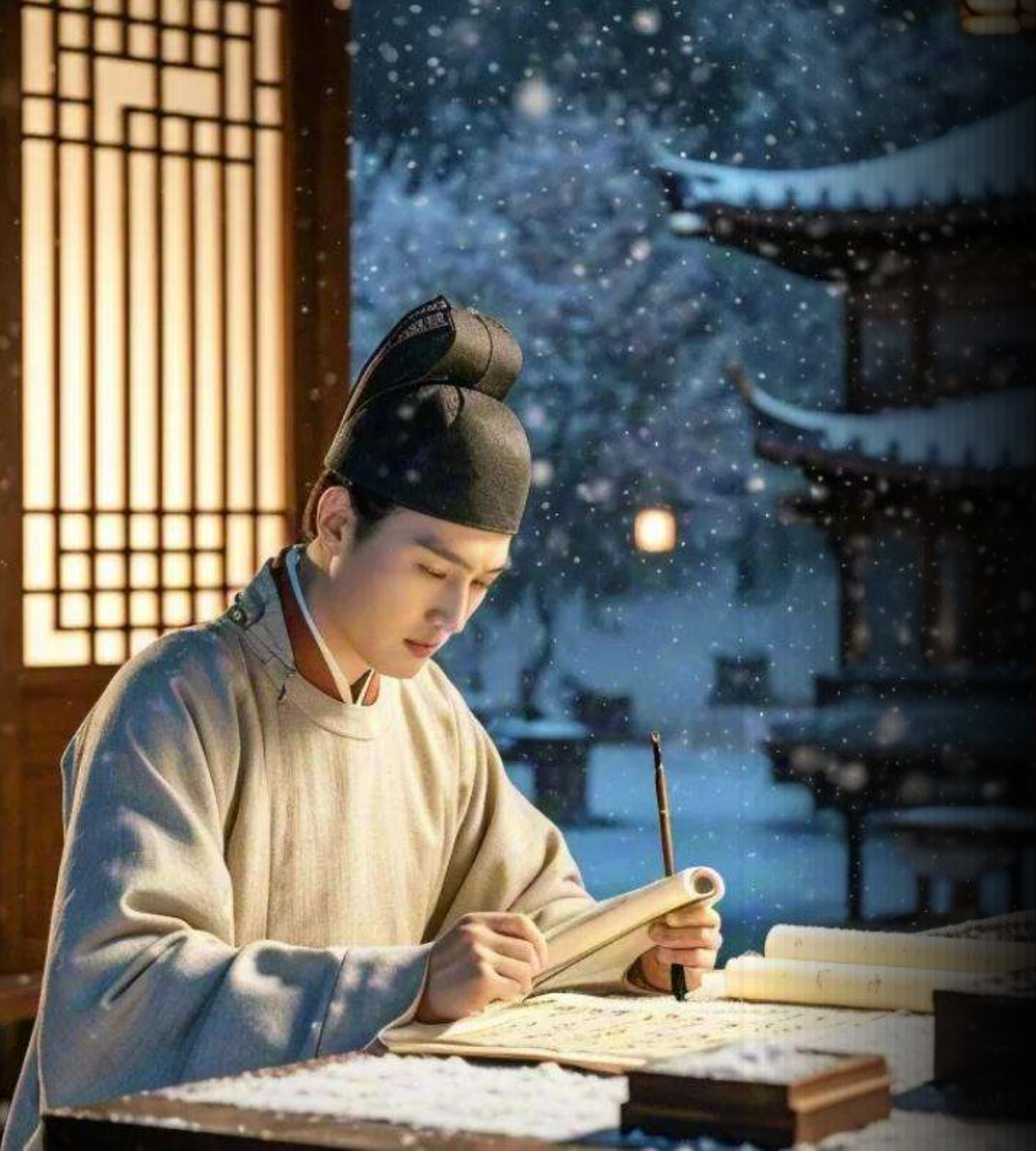
梁の袁峻

袁峻（生没年不詳）

〔解説〕

南朝梁の武帝に仕えた官僚・文人。
字は孝高。陳郡陽夏（現河南省周口市
太康県）の人。

南北朝時代には、まだ印刷術は誕生
していなかったため、袁峻は人から本
を借りて書き写すことで蔵書を増やし、
文人としての教養を身につけていった。



写本の時代

袁峻^①、字は孝高。陳郡陽夏の人である。（中略）峻は早くに両親を亡くしたが、志は篤く、学問を好んだ。家が貧しく書物がなかったため、いつも人から借りて写すのを日課としていた。毎日五十枚ずつ、所定の枚数を満たすまでけっして休むことはなかった。

『梁書』卷四九 袁峻伝

十六始移居所經營改葬不
服之少好學能屬文起家爲司徒法曹行參軍不就天
監初以臨川王妃弟故自征虜主簿仍遷王中軍功曹
累遷尚書庫部侍郎丹陽尹丞太子太傅丞尚書殿中
侍郎南徐州治中以公事免久之爲太子洗馬掌書記
侍講壽光殿自高祖卽位引後進文學之士苞及從兄

孝綽從弟孺同郡到溉溉弟洽從弟沆吳郡陸倕張率
並以文藻見知多預讌坐雖仕進有前後其賞賜不殊
天監十年卒時年三十臨終呼友人南陽劉之遴託以
喪事務從儉率苞居官有能名性和而直與人交面折
其非退稱其美情無所隱士友咸以此歎惜之

袁峻字孝高陳郡陽夏人魏郎中令渙之八世孫也峻
早孤篤志好學家貧無書每從人假借必皆抄寫自課
日五十紙紙數不登則不休息訥言語工文辭義師剋
京邑鄱陽王恢東鎮破岡峻隨王知管記事天監初鄱
陽國建以峻爲侍郎從鎮京口王遷郢州兼都曹參軍

唐代に誕生した印刷術を応用した
書籍の出版は、いつごろ始まったの
か？



書籍出版の開始

書籍の出版は、唐代、民間を中心に実用化された。

五代十国時代になると、各地の武人政権の実務を担った文人官僚の要望により、国家事業として儒教經典などの出版事業が始まった。

循味

循味

摩訶循味

循循唎

娑婆訶

奉請除災金剛

奉請辟毒金剛

奉請黃隨求金剛

奉請白淨水金剛

奉請赤聲金剛

奉請定除厄金剛

奉請紫賢金剛

奉請大神金剛

金剛般若波羅密經

三寶

如是我聞一時佛在舍衛國祇樹給孤獨園與大比丘衆千二百五十人俱尔時世尊食時著衣持鉢入舍衛大城乞食於其城中次第乞已還至本處飯食訖收衣鉢洗足已敷座而坐時長老須菩提在大衆中即從坐起偏袒右肩右膝著地合掌恭敬而白佛言希有世尊如來善護念諸菩薩善付囑諸


1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC		
周 1046BC-771BC		
春秋戦国時代 770BC-221BC		
秦 221BC-207BC		
漢 206BC-220AD		
魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
晋 265-316		
五胡十六国時代		東晋 317-420
北朝 439-589		南朝 420-589
隋 581-619		
唐 618-907		
五代十国 907-960		
遼	北宋 960-1127	
金 1115-1234	南宋 1127-1279	
元 1271-1368		
明 1368-1644		
清 1616-1912		
中華民國 1912-1949		
中華人民共和国 1949-		

日本の留学僧が見た初期の出版物

印刷術の誕生

唐の咸通六年(865年)、日本留学僧が長安で刊本を書写



日本の僧が見た初期の印刷物

〔解説〕

平安時代の八六二～八六五年、唐に留学した僧・宗叡（しゅうえい）は、多くの仏教經典を請来した。その目録が『新書写請来法門等目録』である。

この目録には『唐韻』や『玉篇』など、日本の留学僧が長安で書き写した字書の版本の名が記されている。

日本の留学僧が唐の都長安で唐韻、玉篇の版本を書写(865年)

日本の僧が見た初期の印刷物

西川印子『唐韻』一部五卷

同印子『玉篇』一部三十卷

右の雑書は、仏教の要籍ではないが、大唐の咸通六年（八六五）六月から十月まで、長安城右街の西明寺で、日本留学僧円載法師が書写した雑書の目録は右のとおり。

『新書写請来法門等目録』卷一

大經釋文次一卷

七曜八宿曆一卷

七曜曆口一卷

六壬名例及成歌一部二卷

明鏡速成一部十卷

秘録藥

一卷 西川印子

唐韻

書

一卷

西川印子

西川印子唐韻一部五卷

同印子玉篇一部三十卷

後入唐僧西川印子

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 呉 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

民間での書籍出版の始まり

印刷術の誕生

日本留学僧が長安で刊本を書写(865年)

四川の民間で実用書が出版される(883年)

民間での書籍出版のはじまり

〔解説〕

唐代の末、黄巢が率いる反乱軍が都・長安に侵攻。僖宗とその家臣たちは八八一年、蜀（四川省）に逃れた。僖宗とともに蜀に行った柳玘（ひん）は、当時この地で占いや字典、手習いなどの実用書が粗雑に印刷され、販売されていたことを記している。

唐

四川省成都で占いや字典、手習いなどの実用書が出版される(883年)

八各部隨帙刻印板廣頒天下如諸色人要寫經書並請依所印刻本不得更使雜本交錯 愛日齋叢鈔云通鑑載後唐長興三年二月辛未初令國子監校定九經雕印賣之又曰自唐末以來所在學校廢絕蜀毋昭裔出私財百萬營學館且請板刻九經蜀主從之由是蜀中文學復盛又曰唐明宗之世宰相馮道李愚請令判國子監田敏校定九經刻板印賣從之後周廣順三年六月丁巳板成獻之由是雖亂世九經傳布甚廣王仲言揮塵錄云毋昭裔貧賤時嘗借文選于交遊間其人有難色發憤異日若貴當板以鏤之遺學者後仕王蜀爲宰相遂踐其言刊之印行書籍創見于此事載陶岳五代史補後唐平蜀明宗命太學博士李鏐書五經仿其製作刊板于國子監爲監中刻書之始 猗覺寮雜記云雕印文字唐以前無之唐末益州始有墨板後唐方鏤九經悉收入間所有經史以鏤板爲正見兩朝國史此則印書已始自唐末矣案柳氏家訓序中和三年癸卯夏鑒興在蜀之三年也余爲中書舍人旬休閱書于重城之東南其書多陰陽雜記占夢相宅九宮五緯之流又有字書小學率雕板印紙浸染不可盡曉葉氏燕語正以此證刻書不始于馮道而沈存中有謂

民間での書籍の印刷と出版

誅党項阿

中和三年(西曆八八三年)夏、陛下が

蜀に移られて三年目のことである。

当時、中書舎人の職にあった私は、十日に一度の休みを利用して、重城の東南に本を見にいった。

本の多くは陰陽雜記、占夢、相宅、九宮五緯の類で、ほかに字書や手習いの本もあった。どれも木版で刷られいたが、墨がにじみ、よく判読できなかつた。

『旧五代史』卷四十三所引(唐)柳玘「柳氏家訓序」

1600BC
1500BC
1400BC
1300BC
1200BC
1100BC
1000BC
900BC
800BC
700BC
600BC
500BC
400BC
300BC
200BC
100BC
0
100
200
300
400
500
600
700
800
900
1000
1100
1200
1300
1400
1500
1600
1700
1800
1900
2000

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

国家事業としての書籍出版の始まり

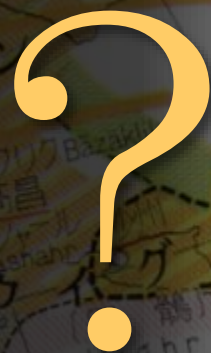
印刷術の誕生

日本留学僧が長安で刊本を書写(865年)

民間で実用書の出版始まる(883年)

国家事業として儒教經典の出版始まる(932~53年)

なぜ武人と呼ばれる軍閥が支配した五代十国時代に、国家事業としての儒教經典などの出版が行われたのか？

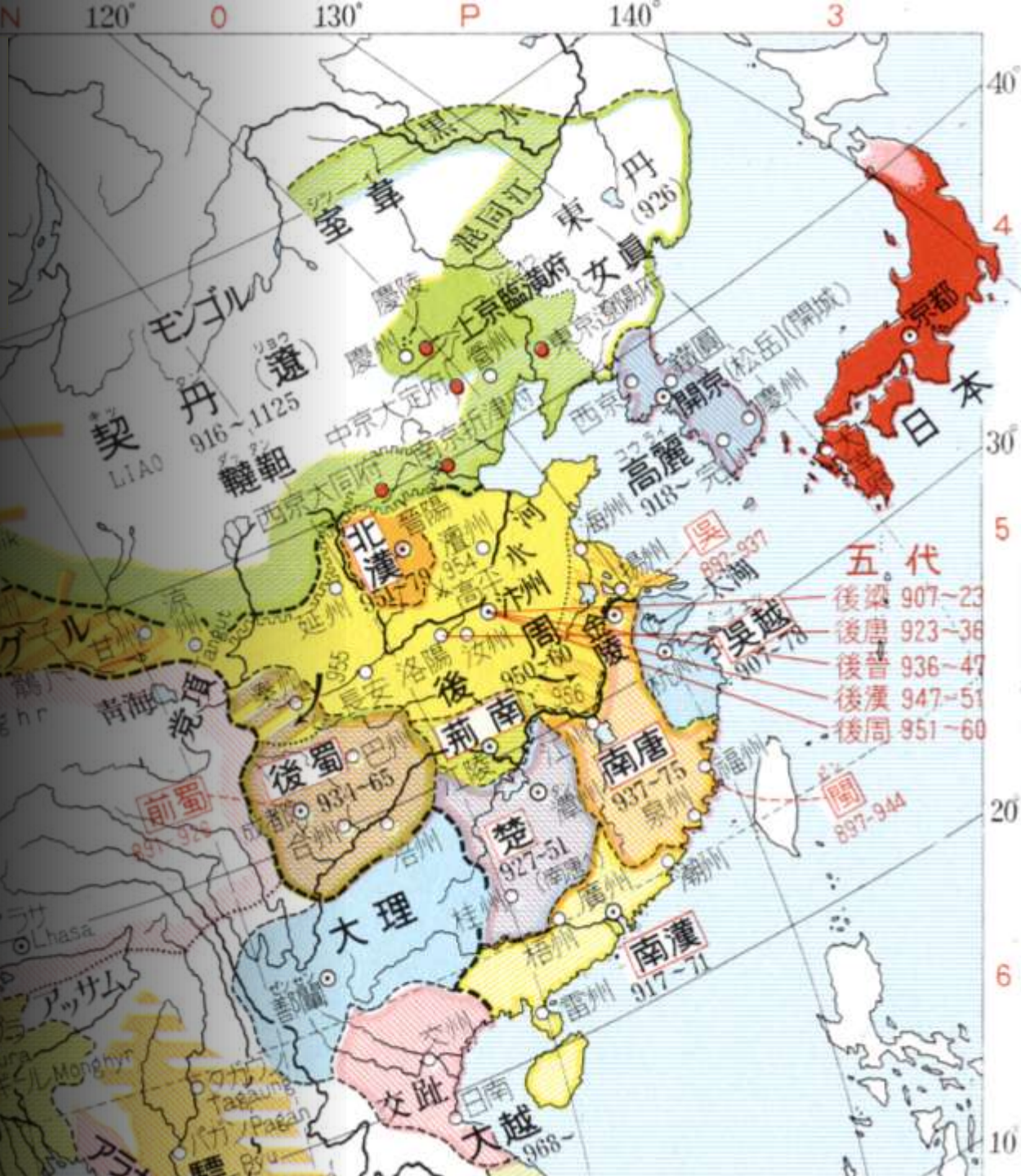


実力本位の平等な社会を求めて

〔解説〕

唐王朝が滅亡した後、中国各地には武人と呼ばれる武装集団が割拠していた。この武人たちによって旧来の門閥貴族が一掃された後、新たな政治の担い手となったのが、科挙出身の文人官僚たちであった。こ
ちは、科挙による実力本位の平等な社会を守るため、儒教經典などの書籍を出版し、教育の普及に努めた。





地方政権(後蜀)の出版事業

蜀の地は唐末以来、学校が荒廃していた。母昭裔①は私財を投げうって学校を再建するとともに、後蜀の後主②に願い出て**九経**を出版した。

【解説】

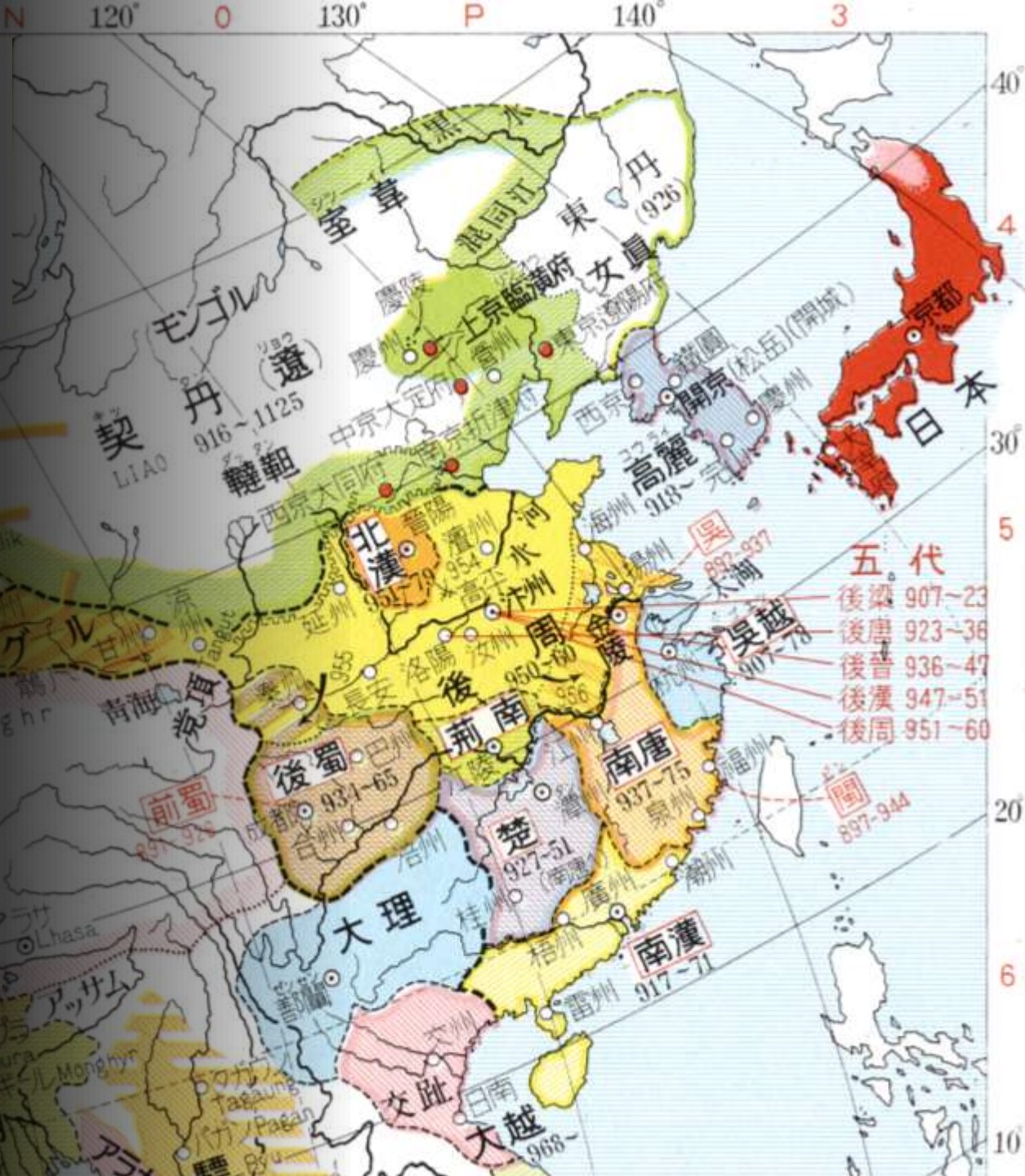
①母昭裔（ぶしょうえい）は、河中竜門（現在の山西河津県）の人。生没年不詳。五代十国時代の後蜀に仕えた文人官僚。

②後蜀の第二代皇帝・孟昶（ちよう九一九〜六五）

地方政権(後蜀)の出版事業

母丘儉(昭裔)は、貧しかったころ、友人から『文選』を借りようとして、嫌な顔をされたことがあった。母はこれに発奮し、「いつか富貴の身になったら、これを出版して学生たちに与えよう」と誓った。その後、後蜀に仕えて宰相になると、誓いのとおりこれを出版した。

(宋)王明清『揮塵余話』卷二所引五代史補



中原王朝の出版事業

後唐の長興三年（西暦九三二年）二月、中書門下①は石經文字により九經の版木を作るよう上奏した。

明宗②は国子監に詔を下し、博士や学生を集めて長安の石經から各々が専門とする經書を筆写し、仔細に校閲した後、版木職人を雇って各部帙ごとに印刷し、広く天下に頒布するよう命じた。また一般の者が經書を写す時にもこの勅印本に従い、他の雜本と混ぜてはならないと命じた。

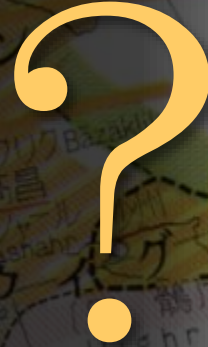
【注釈】

①宰相の馮道と李愚を指す

②突厥沙陀部出身の第二代皇帝・李嗣源

『五代會要』卷八 經籍

では、儒教經典が国家事業として
出版される以前、科挙の教科書とな
る儒教經典は、どのようにして公布
されていたのか？



儒教經典の定本・石經

〔解説〕

漢代に儒教が国教化されると、歴代王朝は儒教經典の定本を示すため、經典を石碑に刻んだ石經を建立した。後漢の熹平石經（洛陽）、魏の正始石經（洛陽）、唐の開成石經（長安）、五代後蜀の蜀石經（成都）、北宋の嘉祐石經（開封）、南宋の紹興石經（杭州）、清の乾隆石經（北京）などがある。



（唐）開成石經（西安碑林博物館蔵）



儒教經典計63万字を190の石碑に刻んだ清の乾隆石経（北京孔子廟）

1600BC	殷 1600BC頃-1046BC		
1500BC			
1400BC			
1300BC			
1200BC			
1100BC	周 1046BC-771BC		
1000BC			
900BC			
800BC			
700BC			
600BC	春秋戦国時代 770BC-221BC		
500BC			
400BC			
300BC			
200BC			
100BC	秦 221BC-207BC		
0	漢 206BC-220AD		
100			
200	魏 220-265	蜀 221-263	呉 222-280
300	晋 265-316		
400	五胡十六国時代		東晋 317-420
500	北朝 439-589		南朝 420-589
600	隋 581-619		
700	唐 618-907		
800			
900	五代十国 907-960		
1000	遼	北宋 960-1127	
1100			
1200	金 1115-1234		南宋 1127-1279
1300	元 1271-1368		
1400	明 1368-1644		
1500			
1600			
1700	清 1616-1912		
1800			
1900	中華民国 1912-1949		
2000	中華人民共和国 1949-		



書籍出版が実現した「唐宋変革」

(907-960)

唐代以前—門閥貴族が政治の実権を握る

五代十国時代—門閥貴族が没落し文人官僚が実権掌握

宋代以降—皇帝の独裁体制が確立

活字印刷の発明

〔解説〕

五代十国時代に本格化した雕版印刷（版木を使った印刷）に続き、北宋時代の十一世紀半ばには、活版印刷（活字を使った印刷）も発明された。

ドイツのグーテンベルクが金属活字を使って四十二行聖書を印刷したのは、十五世紀半ば。それよりも四百年も前のことであつた。



民間での書籍出版の始まり

殷 1600BC頃-1046BC

周 1046BC-771BC

春秋戦国時代 770BC-221BC

秦 221BC-207BC

漢 206BC-220AD

魏 220-265 蜀 221-263 吳 222-280

晋 265-316

五胡十六国時代 東晋 317-420

北朝 439-589 南朝 420-589

隋 581-619

唐 618-907

五代十国 907-960

遼 北宋 960-1127

金 1115-1234 南宋 1127-1279

元 1271-1368

明 1368-1644

清 1616-1912

中華民国 1912-1949

中華人民共和国 1949-

印刷術の誕生

日本留学僧が長安で刊本を書写(865年)

民間で実用書の出版始まる(883年)

国家事業として儒教經典の出版始まる(932~53年)

畢昇が活字印刷を発明(1041~48年)

活版印刷の發明

書籍の印刷出版は、唐代にはまだ盛んには行われていなかったが、(五代十国時代の)馮道が始めて(儒教經典の)五經を印刷して以来、書籍はみな版本となった。

(北宋時代の)慶曆年間(一〇四一〜四八年)には、民間の畢昇という人物が、活版印刷を行つた。

(宋)沈括『夢溪筆談』卷十八技芸
用十七道合二百八十九道黑白棋各百五十
亦與後世法不同

算術多門如求一上驅搭因重因之類皆不離乘除唯增成一法稍異其術都不用乘除但補虧就盈而已假如欲九除者增一便是八除者增二便是但一位一因之若位數少則頗簡捷位

數多則愈不若乘除之有常然算術不思學見簡卽用見繁卽變不膠一法乃爲通術也

板印書籍唐人尚未盛爲之自馮瀛王始印五經

已後典籍皆爲板本慶曆中有布衣畢昇又爲

活板其法用膠泥刻字薄如錢唇每字爲一印

火燒令堅先設一鐵板其上以松脂臘和紙灰

之類冒之欲印則以一鐵範置鐵板上乃密布

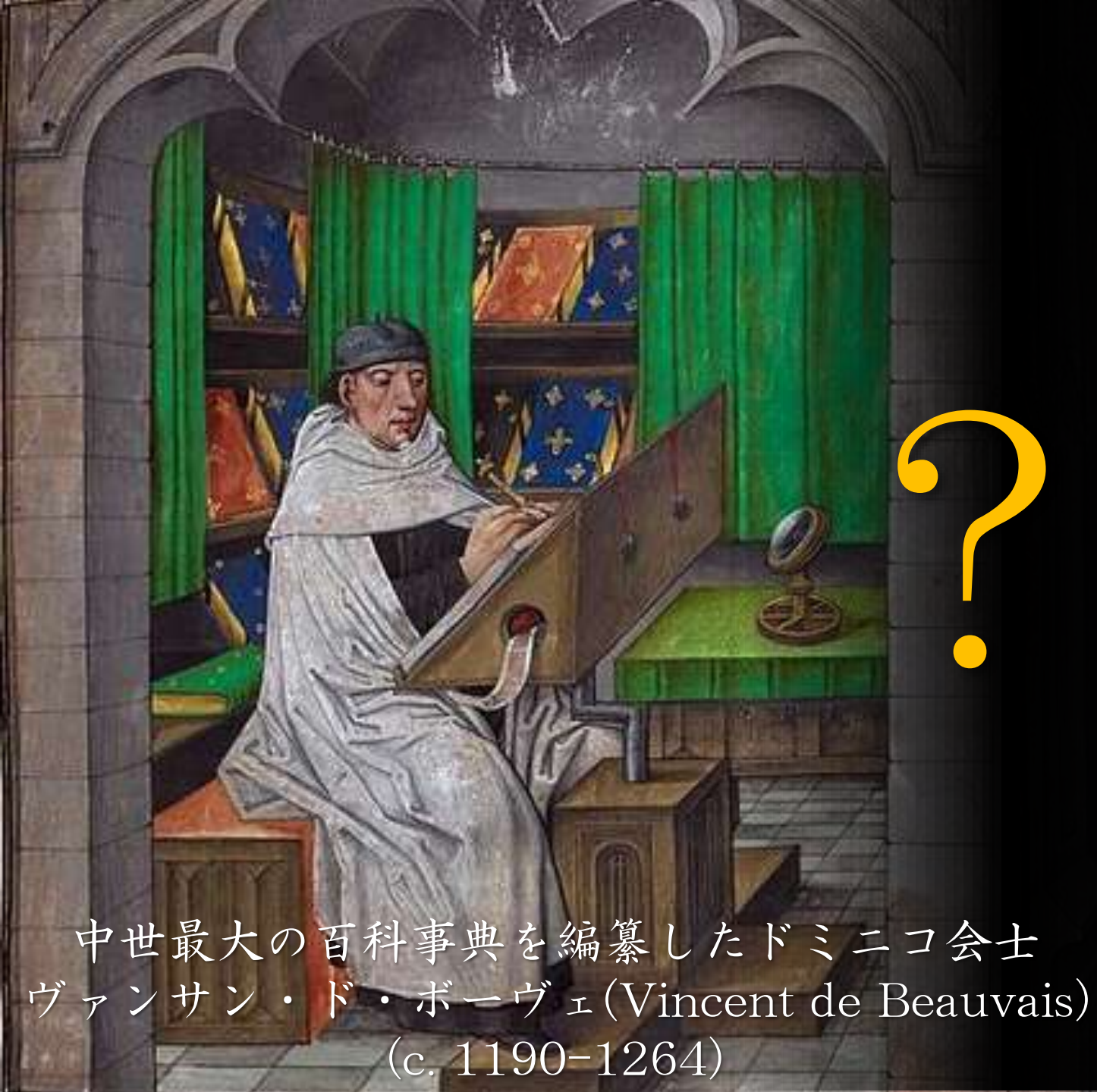
字印滿鐵範爲一板持就火煬之藥稍鎔則以

一平板按其面則字平如砥若止印三二本未

東アジアで誕生した印刷術と
書籍出版は、いつごろヨーロッ
パに伝わったのか？



中世最大の百科事典を編纂したドミニコ会士
ヴァンサン・ド・ボーヴェ(Vincent de Beauvais)
(c. 1190-1264)



印刷術と書籍出版の伝播

ドイツでグーテンベルクが
四十二行聖書を活版印刷
(1455年)

新羅の都・慶州の仏国寺に釈迦塔
が建立され、無垢浄光大陀羅尼經
の木版本を奉納(704~51年)?

ヨーロッパで宗教版画が
木版印刷される
(14~15世紀)

仏教のため印刷術が誕生(7世紀)
国家事業として書籍出版(10世紀)
活字印刷が発明される(11世紀)

称徳天皇が無垢浄光大陀羅尼經を
百万枚印刷させ、木製の小塔に納
めて十大寺に分置(764年~70年)

まとめ

■唐末から五代十国時代へと続いた武人による支配の中で、門閥貴族は勢力を失い、かわって庶民から身を起こした科挙出身の文人官僚が新たな政治の担い手となった。

■文人官僚たちは、身分や家柄に関係ない実力本位の社会を守るため、唐末に民間で発達した印刷技術を使って知識の普及につとめた。

■その結果、中国はヨーロッパよりも五百年以上も早く、書籍出版の時代を迎えた。

参考文献

- 一. T・F・カーター著、藪内清・石橋正子
訳注『中国の印刷術とその発明と西伝』
（平凡社東洋文庫、一九七七年）
- 二. 潘吉星著『中国古代四大発明とその源流・外
伝及世界影響』（中国科学技術大学出版社、
二〇〇二年）
- 三. 韓国図書館学研究会編『韓国古印刷史』
（同朋社、一九七八年）
- 四. 日本印刷学会西部支部百万塔陀羅尼研究
班編『百万塔陀羅尼の研究』（八木書店、
一九八七年）
- 五. 中根勝『日本印刷技術史』（八木書店、
一九九九年）
- 六. 倉石武四郎編『中國古典文學大系二〇
宋代詞集』（平凡社、一九七〇年）